



第50号

練馬区水泳連盟ニュース

特定非営利活動法人(NPO法人)

練馬区水泳連盟広報部 令和4年8月吉日発行

東京都練馬区田柄2-6-14 TEL 3939-0011

<http://www.nerima-suiren.org>

「スポーツの力で繋がろう」

練馬区水泳連盟会理事長
茨田 忍

平素より「NPO法人練馬区水泳連盟」に対しましてご理解ご協力ご支援を賜りまして誠にありがとうございます。近年日本中がコロナ禍に脅かされその対策や予防を求められる中、今年度7月「練馬区水泳連盟の総会」が無事開催されました。各担当者からきめ細やかな事業報告や創意工夫の足跡、新たな年度の計画案が承認されました。各部門の取り組みの1つ1つが担当者はもちろん、会員、ご家族、練馬区をはじめ、多くの関係者の皆様の支えによって、進められた事に改めて痛感し心より感謝申し上げます。役員一同、新たな気持ちで皆様から愛される取り組みをして参りますのでご指導をよろしくお願いいたします。

さて、私たちが関わる水泳を通してのスポーツの力は素晴らしいと改めて感じます。困難に立ち向かった時、スポーツは人と人を繋ぎ様々な環境を通して乗り越える方策を見出す事にたどり着きます。障がいの有無に関わらず、老若男女、運動が苦手な人も得意な人も、みんなを一つに繋ぐスポーツの力は人々を一つにまとめる活動にも繋がります。当法人が実施する障害者も健常者も共にスポーツの場を楽しむイベント「ノーマライゼーション水泳フェスティバル&ユニバーサルスポーツチャレンジ」は今年度開催で25年目の節目になります。トップアスリートから中高生の学生・老若男女の方々のボランティア協力は150名にも達します。毎年ご協力いただいているベテランのボランティアの方々には、初めてボランティアに参加する方のフォローをお願いしながらの充実を図ります。さらには地域障害者スポーツ指導員の養成の必要性を感じ練馬区と連携して「初級障害者スポーツ指導員養成講習会」は4年目になります。この取り組みの1つ1つがスポーツの魅力に引き付けられ人と人を繋ぎその輪が社会貢献に繋がります。私たちは、水泳を通じて学ぶ精神性、健全な心、頑張る気持ち、連帯感、いたわり、助け合いなど、水泳がより日常生活に溶け込み、子供から高齢者までの幅広い方々がウォーターパワーを通して生活の充実、素晴らしい人間性の形成、多くの交流が生まれる環境づくりに貢献していきたいと願っております。



～よろしく申し上げます～

練馬区地域文化部 スポーツ振興課長
牧山 正和

5月1日付けでスポーツ振興課長に就任しました牧山と申します。

日頃より、NPO法人練馬区水泳連盟の皆様には、区民体育大会や初心者スポーツ教室など、様々な事業を通じて、区のスポーツ振興に多大なお力添えをいただいております。深く感謝申し上げます。

昨年、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、様々な競技で日本選手が活躍しました。パラリンピック競技大会に着目しますと、日本勢は2016年リオデジャネイロ大会でゼロだった金メダルを13個、総数でも過去2番目に多い51個を獲得するなど健闘しました。このうち水泳競技におけるメダル獲得数は13個に上り、パラ水泳の裾野が広がっていると感じます。

練馬区においても、パラスポーツが注目されており、障害のある方もない方もスポーツを楽しめる機会の充実が求められています。水泳連盟の皆様には、区立温水プールの障害者専用コースの運営、ノーマライゼーション水泳フェスティバルの開催などを通じて、長年にわたり障害者スポーツの振興に貢献していただき、改めて感謝申し上げます。

水泳は、心身の健康増進に有効で、生涯にわたり継続できる素晴らしいスポーツです。区としましても、水泳連盟の皆様のご協力をいただきながら、水泳の魅力が区民の皆様により一層知ってもらい、誰もが身近な場所でスポーツを楽しめる環境づくりに取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

